

夏のボランティア体験レポート

～地域とつながる、私の一歩。中高生ボランティアの夏～



この夏、中学生や高校生など約180名がボランティア体験に挑戦しました。

保育園や福祉施設での2日間の活動のほか、絵本の読み聞かせや子ども食堂のボランティア活動への参加など、様々な場所で笑顔の輪を広げた学生たち。たくさんの感動と学びが詰まった、ひたむきな夏の記録をお届けします。

参加者の声

●保育園・福祉施設

- ・ボランティアで学んだことを活かして将来に繋がりたいと思います。(高1)
- ・一人ひとりや一つひとつの言葉と向き合い、自分の考えや気持ちを伝えることの大切さと、相互的な心の温かさを生むことに繋がるということを知ることができました。(中2)
- ・「誰にでも公平に」ではなく、「その人にあった関わり方」で関わるのが大切だと分かりました。(中2)



●絵本の読み聞かせ

- ・子どもたちが反応してくれたり、真剣に聞いてくれていたので、読み聞かせにやりがいを感じ、嬉しかったです。(中3)
- ・子どもたちが笑顔で感謝を伝えてくださり、読み聞かせを行うことの大切さを改めて感じ、とても嬉しく思いました。(中2)
- ・読み聞かせでは緊張してしまったので、間のとり方や読むスピードやページをめくる速さなどが難しかったです。(中1)

●子ども食堂

- ・人と関わることで多くの人の気持ちが見えました。(高3)
- ・ボランティアを通して人と関わり協力することの楽しさや大切さを実感することができ、とても嬉しかったです。(中1)



担当者のコメント

戸惑いながらも一歩を踏み出し、一生懸命に取り組む彼らの姿にたくさんの元気をもらいました。来年の夏もみなさんとお会いできることを楽しみに待っています。

